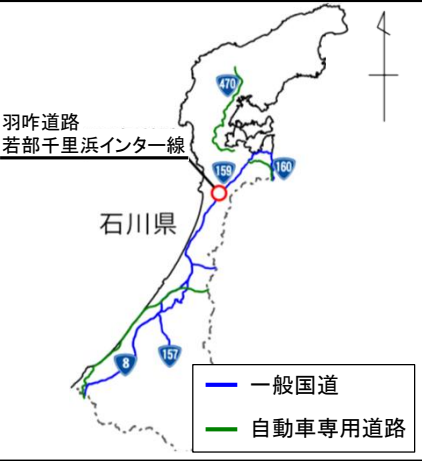




国道159号羽咋道路および県道若部千里浜インター線 令和7年11月1日(土)に開通します



金沢河川国道事務所が整備を進めている国道159号羽咋道路のうち、よつやなぎまち 四柳町から しじみまち 志々見町までの延長3.3km区間が令和7年11月1日(土)に開通します。

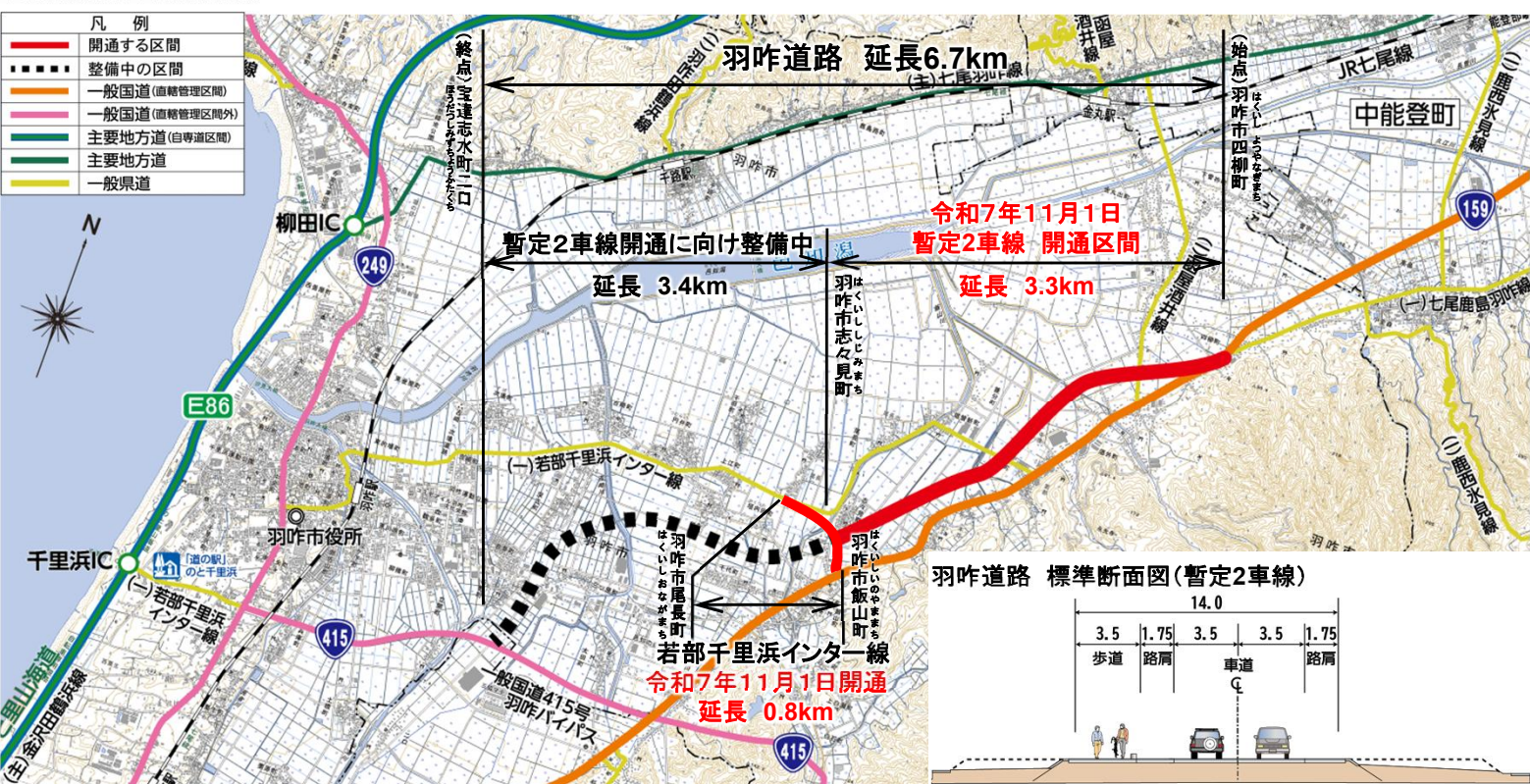
また、石川県が整備を進めている県道若部千里浜インター線の いのやま 飯山町から おながまち 尾長町までの延長0.8km区間が同日に開通します。

なお、開通時間等については、詳細が決まり次第お知らせします。

羽咋道路開通による主な整備効果

【効果①】安全性・アクセス性の向上

【効果②】災害に強いネットワークの形成



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課長 石山 良太
住所：金沢市西念4丁目23番5号 電話：076-264-9912(計画課直通)
FAX：076-233-9631
事務所HP：https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/index.html
X(旧ツイッター)：https://twitter.com/KanazawaBousai

【事務所HP】



【X(旧ツイッター)】



石川県 土木部 道路建設課長 小寺 基
住所：金沢市鞍月1丁目1番地 電話：076-225-1722(道路建設課直通)
FAX：076-225-1723
道路建設課HP：https://www.pref.ishikawa.lg.jp/douken/

国道159号 羽咋道路の概要

【概 要】

羽咋道路は、羽咋市四柳町から宝達志水町二口までの延長6.7kmの道路事業です。交通事故の減少、安全性の向上、災害に強いネットワークの形成、地域産業の活性化、緊急医療活動支援を目的としています。

区 間: 石川県羽咋市四柳町～宝達志水町二口

延 長: 6.7km

車 線 数: 4車線

事業経緯: 平成20年度

平成24年度

平成27年度

事業化

用地着手

工事着手

令和7年11月1日 四柳町～志々見町間暫定2車線開通(延長3.3km)



四柳町から金沢市方面を望む(R7.9撮影)



志々見町から七尾市方面を望む(R7.9撮影)

一般県道 若部千里浜インター線の概要

【概 要】

若部千里浜インター線は、沿線主要施設へのアクセス道路として、地域住民の生活を支えるとともに、国道159号と、のと里山海道を連絡する重要な道路です。

国道159号接続部において、バイパス整備を実施し、安全性向上・地域間交流の促進を図ります。

区 間: 石川県羽咋市飯山町～羽咋市尾長町

延 長: 0.8km

車 線 数: 2車線

事業経緯: 平成30年度

令和元年度

令和3年度

事業化

用地着手

工事着手

令和7年11月1日

飯山町～尾長町間開通



尾長町から飯山町方面を望む(R7.9撮影)

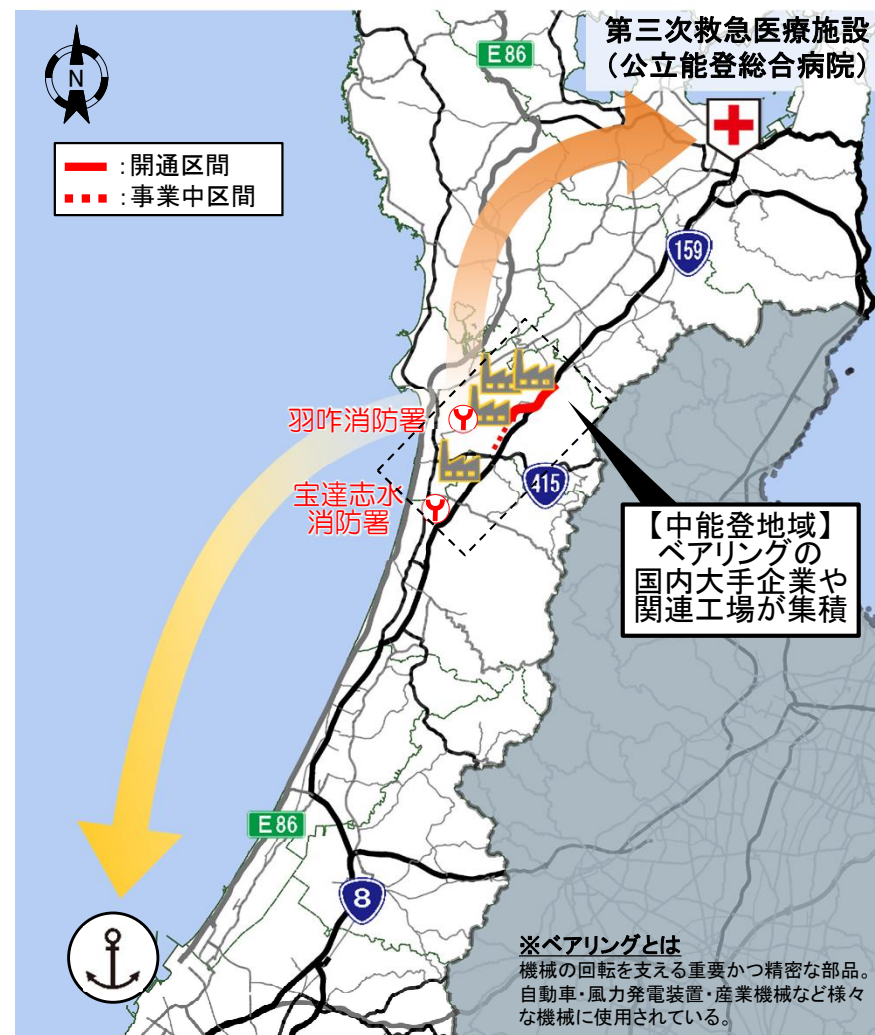
羽咋道路の開通によって期待される主な整備効果

整備効果①

安全性の向上とアクセス性の向上



- 現道から走行性や安全性の高い羽咋道路へ交通が転換することで、**事故の減少**や**通学時・冬期における歩行者の安全性の向上**が期待されます。
- 羽咋道路の開通により、七尾方面、金沢方面への移動のアクセス性が向上し、**迅速な救命救急活動の支援**や**物流の効率化による地域間連携の向上**が図られます。



写真①：現道区間の通学状況（本江町）



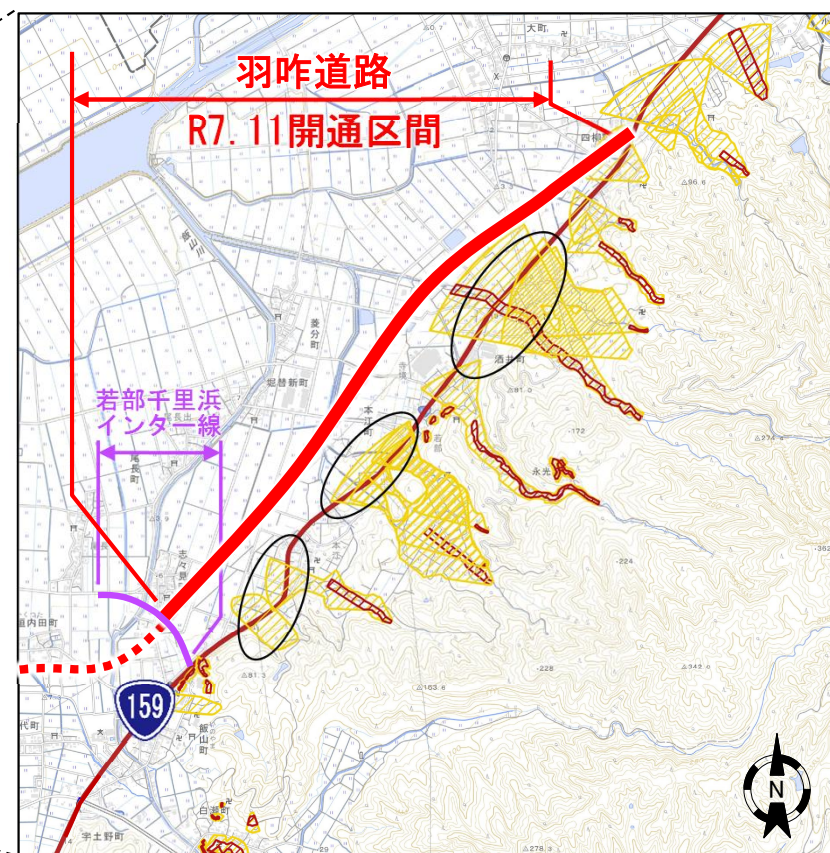
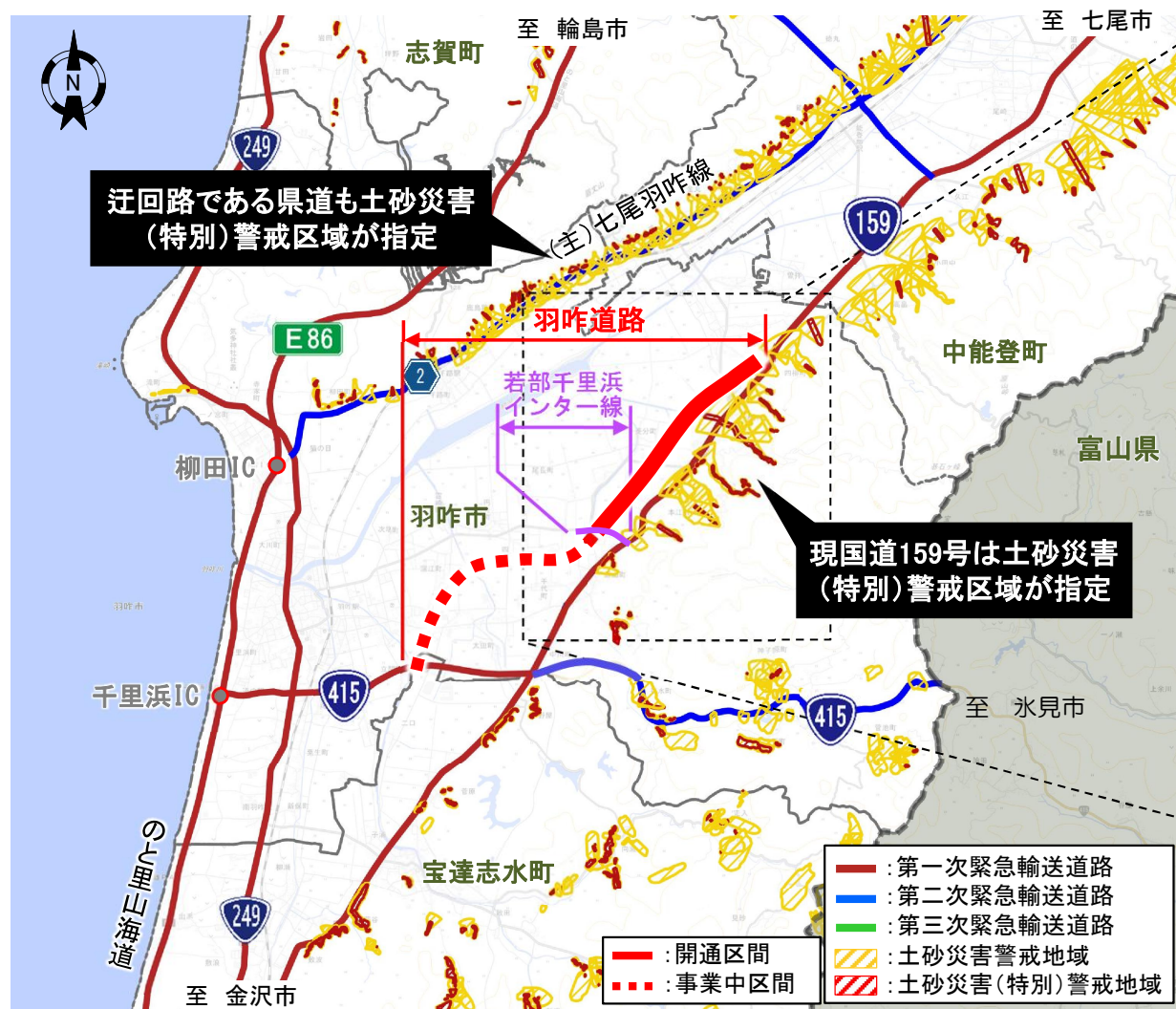
写真②：冬期の現道状況（飯山町）

整備効果② 災害に強いネットワークの形成

災害に強いネットワークの形成



- 国道159号は第一次緊急輸送道路に指定されていますが、沿線に土砂災害警戒区域が存在しています。
- 羽咋道路の開通により土砂災害警戒区域を回避することで、**災害に強い緊急輸送道路ネットワーク機能を確保**します。
- 平行する現道（現国道159号、（主）七尾羽咋線）との複線化により、災害時においてもネットワークの信頼性が向上し、**地域の安全・安心が確保**されます。



緊急輸送道路とは

災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線。

土砂災害(特別)警戒区域とは
土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。大雨などの自然災害発生時には道路が寸断される可能性がある。